

# 『グリムを観る・グリムを聴く・グリムを考える』―「グリム童話集」初版刊行200周年を記念して―

山根, 恵子

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化 / 異文化

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

56

(終了ページ / End Page)

59

(発行年 / Year)

2013-04

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00008675>

# 『グリムを観る・グリムを聴く・グリムを考える』 —「グリム童話集」初版刊行200周年を記念して—

報告者：山根恵子

今年は、1812年『子供と家庭のための昔話—グリム兄弟による収集』初版が刊行されて200周年にあたり、ドイツだけでなく日本でも、関連するさまざまな記念行事が開催されています。とりわけ大学で行われるものには、文学としての「グリム童話」を扱うシンポジウムが多いのですが、本学国際文化学部では、大学院国際映像文化研究所との共催で、旧東ドイツの映画制作会社 DEFA によるグリム童話の実写版劇映画を上映し、初版作品の朗読と、グリムに関する講演等の催しを行います。

---

2012.11.7（水）

## 【タイムテーブル】

16:45 開場

17:00 開演

20:15 終了予定

---

## 第一部

17:00 DEFA 映画『Rotkäppchen—赤ずきん』上映（72分）

—休憩（20分間）—

## 第二部

18:40 グリム童話『Rotkäppchen』初版 朗読会

Annete Gruber 氏（法政大学講師）

## 第三部

19:15 『少年の魔法の角笛からグリム初版へーグリム兄弟が昔話集  
を出版するまでー』

吉原高志 氏（関東学院大学教授）講演

20:00 質疑応答

---

### Annette Gruber（アネッテ・グルーバー）

1991～92年 イギリス Reading 大学留学

1994年 ドイツ連邦共和国アウグスブルク大学文学部（独語文学、英語文学専攻）卒業  
東京ドイツ文化センター、法政大学、早稲田大学等ドイツ語講師

『少年の魔法の角笛からグリム初版へーグリム兄弟が昔話集を出版するまでー』

〈講演概要〉

ドイツ後期ロマンの最大に業績といわれるのがクレメンス・ブレンターノとアヒム・フォン・アルニムの『少年の魔法の角笛』とヤーコブ・グリムとヴィルヘルム・グリムの『子どもと家庭の昔話集』です。『グリム童話』は、世界中で翻訳され、聖書に継ぐと言われるほど、広く知れ渡っています。一方『少年の魔法の角笛』はその書名は知られてはいるものの、実際に読まれていません。全部で三巻、723篇もの民謡が収められ、ページ数も千ページを越えますので、それも仕方のないことかもしれません。『少年の魔法の角笛』は、1805年に第一巻が出版され、1808年に三巻目が出版されました。

ヘルダーが『民謡集』を出した啓蒙主義の時代と違い、フランス軍の圧政下、自国固有の文化、自国の民間伝承への関心が高まるなか、アルニムとブレンターノは、民謡に強い関心を持つ多くの協力者を得ることができました。ブレンターノの遺稿の約 500 の手稿のうち、『少年の魔法の角笛』に収録された 230 の歌を調べたところ、おおよそ 70 名の提供者の名前が判明しています。この多くの提供者の中でも、グリム兄弟は第二巻、大惨禍の構想の段階から大きな役割を果たしています。ハインツ・レレケによれば、グリム兄弟は二番目に多くの歌を提供していて、少なくとも 28 がグリム兄弟の提供によるものです。グリム兄弟が『少年の魔法の角笛』に深く関わっていたことがわかります。

『子どもと家庭の昔話集』収集のきっかけを当時の政治状況やグリム兄弟の母国愛などと結びつけて解釈することが多くありましたが、この『少年の魔法の角笛』との関わりが実は、大きな要因となったと思われる。

『少年と魔法の角笛』、そしてブレンターノ、アルニムとの関わりを通して、『子どもと家庭の昔話集』の収集に到る前史を見てみたいと思います。

## 吉原高志（よしはら たかし）

1953 年生、1979 年、東京外国語大学大学院修士課程修了

ドイツ文学専攻、関東学院大学教授

主要訳書

『三百年したら、きっと』（共訳、佑学社）

『空のない星』（福武書店）

『初版グリム童話集』（共訳、白水社）

『ベスト・セレクション 初版グリム童話集』（共訳、白水社）

『少年の魔法の角笛 童唄之巻』（白水社）

---

\* スタッフ：山根ゼミ（安宅駿、泉未来、岩田歩弓、岩田駿一、岡田胡桃、岡田麻里、江夏裕大、小金井貴文、近藤信太、相馬研栄香、中野愛夏、茂原大地）

「グリム童話集」初版刊行200周年を記念して—

グリムを観る  
グリムを聴く  
グリムを考える

2012.11/7(水)  
17:00-20:15(予定)  
BT 26 階 スカイホール

17:00 - DEFA 作品『Rotkäppchen - 赤ずきん』上映  
18:40 - グリム童話初版『Rotkäppchen』朗読  
19:15 - 『少年の魔法の角笛からグリム初版へ  
—グリム兄弟が昔話集を出版するまで—』講演

ゲスト: Annette Gruber (法政大学講師)  
吉原 高志 (関東学院大学教授)

主催: 法政大学国際文化学部  
共催: 国際映像文化研究所  
協力: 山根ゼミ



お問い合わせ: 法政大学国際文化学部資料室 tel (03) 3264-9360